

人権啓発センター だより

平成27年5月

No.17

(公財) 高知県人権啓発センター



「イタリアの小さな村の物語」

「イタリアの小さな村、ここで命が生まれ、恋が芽生え、大地に包まれてきた。よく笑い、よく食べ、よく遊ぶ。私たちが忘れてしまった素敵な物語。人生のすべてはそこにある。小さな生活の営みが息づいている。」のナレーションで始まるテレビ番組「小さな村の物語」が大好きで毎週欠かさずに見ている。村で生活する人たちは裕福ではないが、大自然に囲まれた我が家を宝物と思い、そこで家族と一緒に食事をし、会話を楽しみ、家族の絆を深めていく、そのことを何よりも大切にしている人たちである。村にあるバル（軽食喫茶店）で、古くからの友人とエスプレッソを飲みながら過ぎていく時間。すべきことを自分のペースでゆっくりするだけ。彼らは自らに対して、本当に幸せを感じているのか、本当にやりたいことは何なのか、そんな問いかけをして、今の生活を選択したのだと思う。私たちも自らへのその問いかけの中から、思いがけない世界に気づくかもしれない。

(事務局長 福田)



人権あれこれ

「不断の努力」

日本国憲法は基本的人権の尊重が、一つの大きな柱だが、第十二条には「この憲法が保障する自由及び権利は不断の努力によってこれを保持しなければならない」と説かれてある。この「不断の努力」という文言が私は好きだ。国民に人権があると言っても、それはただ理想であって、努力なしでは実現しないという意味だからだ。すべての国民に人権はあって、みんな幸せになれるはずであるが、現実はそうっていない。人権というものは、いつもゆらゆらと揺れていて危ういのだ。日本国憲法が作られた時、

すでにそのことは見越されていて、「簡単にはできないよ」と言っているように感じるのだ。

そうなのだ、不断の努力はしなければならない。世界に目を向けると、人権の大きな潮流は来た。「人権教育のための国連10年」(1994年)の行動計画の取り組み後から人々の人権意識が、たしかに高まってきたように思う。人権を守ることは容易ではないにしても、理想に向かって努力することは大切なことである。

「不断の努力」は案外人間らしい営みだと思っている。

(研修講師 山下)



一押し本

「つながりを煽られる子どもたち～ネット依存といじめ問題を考える～」

著／土井隆義 岩波ブックレット No. 903 (620 円＋税)

モバイル機器を駆使することで、つながりたい相手だけを選んで即座につながりあうことが容易になっている現在、その“つながり依存”といじめは、人間関係への強いこだわりが背後に潜んでいる点で同根の現象だと著者は言います。また今日のいじめは、人間関係を破壊するものではなく、それを維持する手段となっているとも。様々な機関のデータも用いながら現在の子どもを取り巻く状況がとてもよくわかる一冊です。

(企画啓発課 宮田)

ちょっといい話

ソニーの創業者である井深大（いぶかまさる）は、「人を信じられる者が、日本を作る」という考えのもとにソニー教育財団を設立。「幼稚園では遅すぎる」などの幼児教育の関する著書も多数執筆しました。また、彼はハンディキャップは才能を発揮する妨げではないとして、障害者が活躍できる場、ソニー太陽株式会社を設立しています。これらには、彼の娘が知的障害者であったことも大きな影響を及ぼしていたようです。1992年、彼は功績が認められ、文化勲章を受けることになります。その受章理由には「その高潔なる人柄と相まって、

我が国の科学・技術、産業、教育、社会福祉および国際関係の向上・発展等多方面に貢献し、その功績は極めて顕著である。」と書かれています。文化勲章の受章理由において、人柄に触れる文言が含まれるのはとても珍しいことだといえます。ソニー創業者の一人である盛田昭夫さんは、文化勲章受章を祝う会で、「私たちはそうした井深さんの人柄ゆえに、そのもとに集まり、その夢を実現しようと力を合わせてきました・・・。」とスピーチをされています。

(事務局長 福田)

研修講師 出前します！ (人権啓発研修講師派遣事業)

- * 当センターでは、自治体や企業・団体などの職場で、また、地域の方々の集まりで行われる人権に関する研修に講師を派遣しています。
- * 講師料は要りません。(但し、交通費の実費をご負担ください。)
- * 人権問題に関心がある、人間関係をよくしたい、自分を高めたいなど、いろんな研修の集まりに、多彩なメニュー、楽しいプログラムの研修をご提供します。
- * 派遣の申し込みは、来所または電話や電子メールにて受け付けております。詳細はご相談ください。

私たちがおうかがいします

(派遣研修講師の紹介)

☆ 山本 淳一 (やまもと じゅんいち)



2014年3月末、南国市内の小学校を退職し、同年4月から研修啓発課長として勤務しています。

皆様からの講師派遣依頼の「窓口」担当として調整にあたっています。

時には、研修講師として研修の「勉強」をさせていただくこともあります。

ます。

人権課題解決には、人権教育と人権啓発の役割がとても大切です。積極的な講師派遣のご依頼をお待ちしています！

☆ 竹村 元一 (たけむら もといち)



中学校教員を定年退職してこの研修講師の仕事をさせてもらっています。7年目になります。当センターが柱としている参加体験型研修に魅力を感じています。この研修の場面では、「知っているかどうか(知識)」よりも「自ら考えているかどうか(学ぶ)」ということに重点が置かれます。こうした研修の実践を重ねていく内に、遅々とした歩みではありますが、自分の中でも「教える、話す、伝える」という「教師スタイル」より「引き出す、聴く、つなげる」という「ファシリテータースタイル」に足場の支点が移りつつあることが楽しいし、うれしいと感じているこの頃です。精進していきたいと思っています。

☆ 中西 弘久 (なかにし ひろひさ)



私立学校の人権教育の推進を図るための事業支援や助言などを職務としています。具体的には人権教育に関する職員研修、学校訪問、情報の提供等ですが、特に研修では学校現場のニーズに沿った研修内容や講師選定を心がけています。

☆ 藤本 昌司 (ふじもと しょうじ)

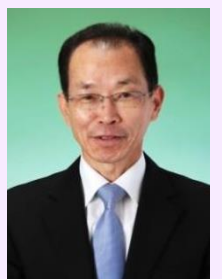


高知市内の小学校で同和教育と出会うことによって、自分自身の進む方向を確立することができました。

高知県や高知市教育委員会事務局勤務中は、同和教育を人権教育に再構築する仕事に

関わることができ、多くのことを学ぶことができました。人権について学ぶことは、自分自身を豊かにしてくれます。今後も自分にできることを努力していきたいと思います。

☆ 川崎 二三雄 (かわさき ふみお)



高知市内の小学校や高知県教育委員会事務局などに勤務してきました。様々な人権課題に関心を持っています。特に、現在人類が経験したことのない超高齢社会をわが国が迎えています。その判断の物差しになるものが人権意識だと思います。組

織、企業、社会で人権意識の高まりがますます求められている昨今です。これからの高知県、日本、世界について一緒に考えていければと思います。

☆ 山下 裕男 (やました やすお)



若い日、同和教育の大先輩に「人を啓発することよりも、自分を啓発することがむづかしい」と教えていただいたことが心に残っています。

今、人権研修会の資料づくりや、研修講師のつもりで行った、県内あちこちの研修会場で、学ばされる事や気づかされる事がたくさんあります。人権研修会で学ぶ事、気づく事は楽しみでもあります。



Information お知らせ

事業・イベント紹介

平成27年度人権ふれあい支援事業

市町村やNPO、ボランティアグループ等の民間団体が、人権意識の普及・高揚のため実施する講演会、研修会、交流会等の経費の一部を選考のうえ支援します。

- 募集期間：平成27年6月1日（月）～6月15日（月）
- 事業実施期間：支援決定日～平成28年2月29日（月）
- 支援金額：支援対象経費の80%以内、上限20万円
- 応募方法：必要書類の提出

※実施要領や申請様式はホームページからダウンロードできます。
詳しくは下記へお問い合わせください。

平成27年度 私立学校人権教育管理職研修

本年度の管理職研修は、人権教育について近年の国や県の動向について理解を深めることをねらいとして開催します。

- 日時：平成27年5月13日（水） 9：30～12：00
- 会場：高知会館 3階「平安」
- 対象者：校長、教頭及び事務長
- 講師：森下 裕一 氏
高知県教育委員会人権教育課 人権教育担当チーフ
- 演題：「これからの人権教育について」



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- パネル
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。
※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
(送料は利用者のご負担となります)



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>